



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

爪切り屋
の
足楽
ASHI-RAKU

この事業は、日本財団・爪切り屋足楽の支援により実施しています。



アスリート先生 学校派遣事業
Challengers Academy
実施レポート

2023年12月12日(火)
港区立小中一貫教育校 赤坂学園
赤坂小学校
松原良香 先生 (サッカー)



赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ

チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2022」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれ話や経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」でのふれあいの中での学びが、子どもたちが今後国際社会に出て、人生を歩んでいくにあたり、活かせる資質や能力を育み、また、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

1. 実施概要

【事業名】 チャレンジャーズアカデミー

【主催】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【支援】 公益財団法人日本財団

【協賛】 爪切り屋足楽 人形町店、合資会社ノアールブラン

【日程】 2023年12月12日(火)

【実施校】 東京都港区立小中一貫教育校赤坂学園(東京都港区赤坂9-2-3)

【目的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくります。

【チャレンジャー先生】 松原良香先生（サッカー）

【実施クラス】 6年生(3クラス) 90名

※対象学年、クラスは学校からの希望を受け決定

【実施方法】 運動と講義の2コマ1セットの授業を、クラス単位または学年単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらいます。
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらいます。
- アンケート・フィードバック 受講生にアンケートを回答してもらい、授業の効果を測定します。先生への質問や生徒へのアドバイスがあればフィードバックします。記念写真シートを受講生全員へ贈呈します。

2. 授業構成（運動の時間） ※45分

①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・自己紹介(名前、競技歴、今の活動など)
- ・今日の授業の目的を伝える



②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



③主運動（30分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声かけをする
- ※目標設定と作戦会議の時間を設ける



④まとめ（5分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



⑤記念撮影

※授業の最初や最後

- アスリート先生による競技のパフォーマンスを披露
- ⇒子どもたちに、世界で戦ったアスリートの凄さを知ってもらう



3. 授業構成（講義の時間） ※45分

① 自己紹介・自身の国際経験の話（30分）

自己紹介

- ・選手時代の写真やスライドなどを用いて自己紹介
- ・簡単なプロフィールを配布または黒板に掲示
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



国際経験の話

以下のテーマのうち**最低2つ**を入れて話します。

- ◆ 海外に出たきっかけ、現地でどのようにコミュニケーションをとれるようになったのか
- ◆ 海外で遭遇した困難とは？それをどう乗り越えたか？
- ◆ 日本と海外の違い、海外でびっくりしたこと
- ◆ 海外を経験してよかったこと、どのような強みができたか
- ◆ 海外に出て感じた日本の良いところ、もっとこうした方が良いと思うところ

② グループワーク・発表（10分）

①で先生の話聞いたうえで、子どもたちが感じたことを話し合い、国際社会に出ること、語学の習得、将来の目標など、自身のことにあてはめ考えられるように気づきを与えることを目的とします。



グループに分かれ、それぞれ感じたことを出し合う(5分)

↓
各グループの代表者が話し合ったことをまとめ発表(5分)



③ 授業のまとめ（5分）

各グループの発表を受け、チャレンジャー先生が生徒へのメッセージ、アドバイスなど、この授業で一番伝えたかったことを最後に伝えます。



授業後 アンケート回収・記念撮影シートの送付

- ◆ 授業終了後 ⇒ 受講後のアンケートに回答(生徒全員) ※担当教諭より事務局へ提出
- ◆ 約1か月後 ⇒ 記念写真シートを生徒全員へ贈呈

4.授業レポート 6年生 サッカー



【日程】2023年12月12日(火)

【チャレンジャー先生】松原良香 先生 (元プロサッカー選手)

運動の授業 (3クラス)



先生の簡単な自己紹介と授業の目的を共有。スポーツを通して仲間と協力することや、また、サッカーを楽しむことを確認。準備運動では、ポルトガル語で全員で掛け声をかけながら、ブラジル体操を実施。子どもたちは、ポルトガル語の数字はすぐに覚えていました。



主運動① ポルトガル語の指示に合わせて動く対面ゲームを実施。「ボラ(ボール)」の時は目の前のボールを奪取し、ゴールを目指します。
主運動② 男女別に、クラス対抗の試合を実施。初心者も積極的にボールへ食らいつき、和気あいあいと試合を楽しんでいました。試合終了後には、松原先生より総括として、語学を身に付け海外の人とコミュニケーションをとることや仲間と協力することの楽しさを、生徒へ伝えました。

講義の授業(3クラス合同)



高校卒業後、オリンピックに出場するために単身でウルグアイに渡ったこと、そこでカルチャーショックや日本との生活環境の違いに戸惑ったこと、言葉覚え、積極的に周りの選手や監督とコミュニケーションをとることで、仲間として受け入れてもらえるようになり困難を乗り越えたことを伝えました。



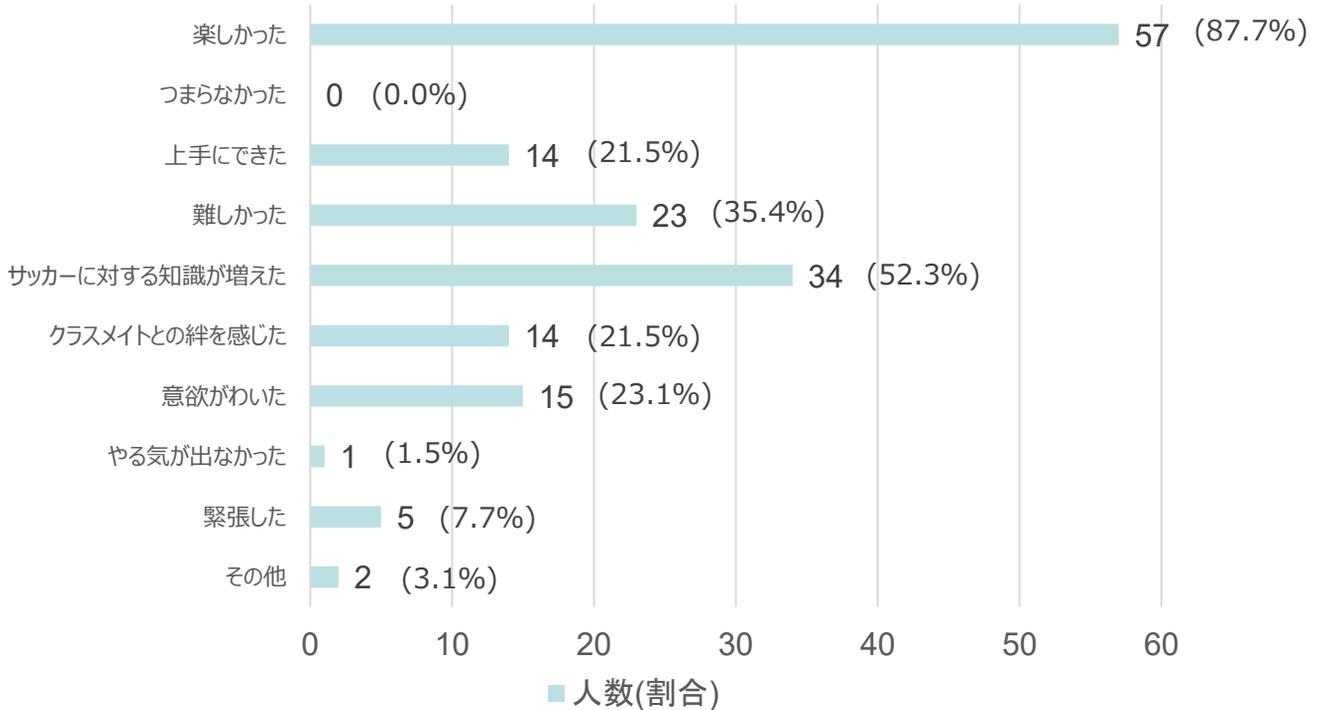
今回の授業を通して、感じたこと、印象に残ったことをクラスメイトと話し合ってもらい、代表者数名に発表してもらいました。「言語の壁を乗り越えれば、特技を活かして国は関係なく協力することができる」「将来の夢や目標に向かって、好きなことだけでなく必要なことを見極めて取り組むことも大事」など、それぞれ感じたことを話してくれました。

5. 受講者アンケートの結果①

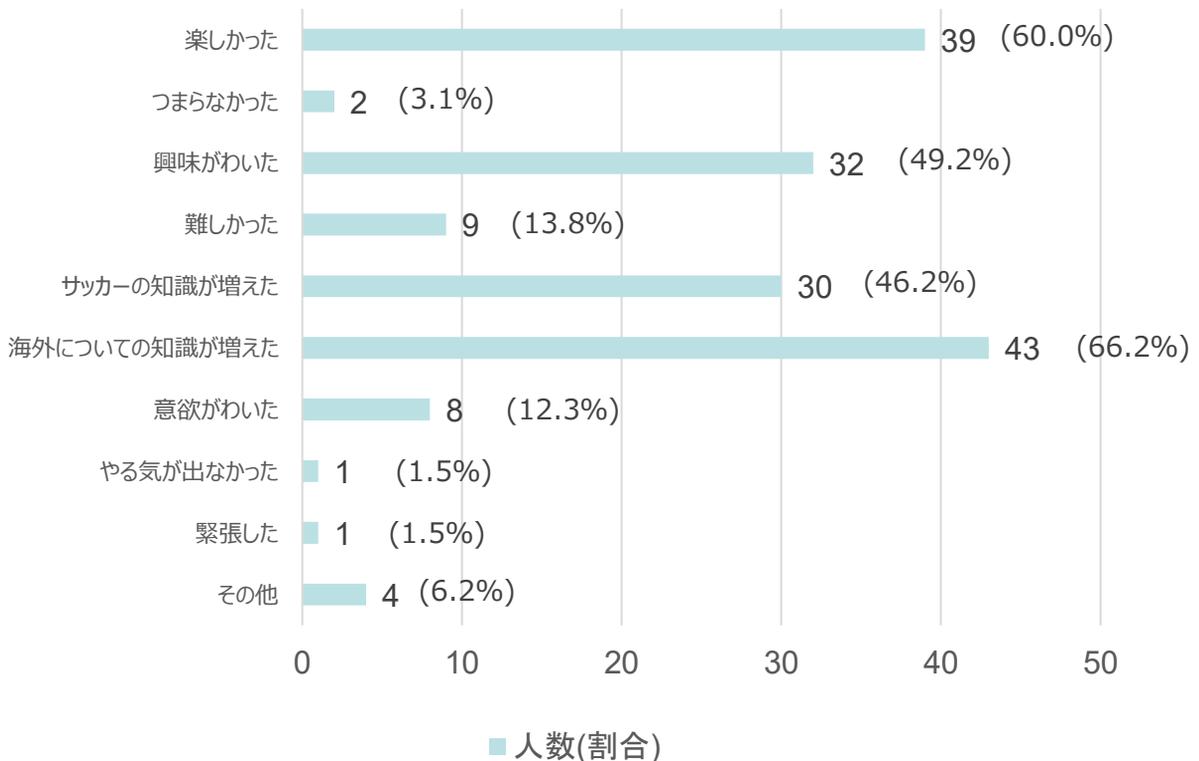


回答者 6年生 65名

Q1 サッカーの授業の感想（複数回答可） ※必須回答



Q2 講義の授業の感想（複数回答可） ※必須回答

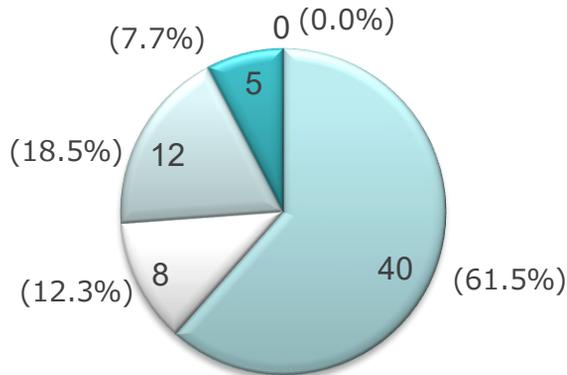


5. 受講者アンケートの結果②

回答者 6年生 : 65名

Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答

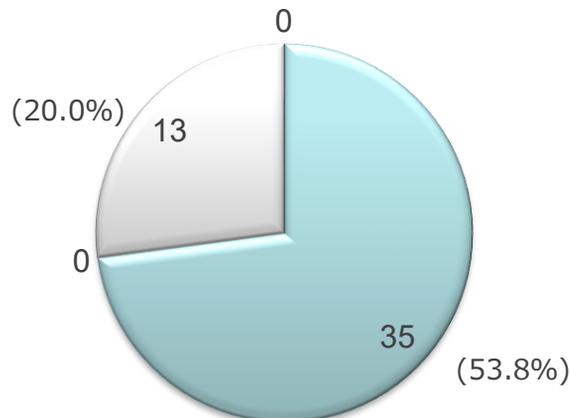
人数(割合)



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。

人数
(全生徒数に対する割合)



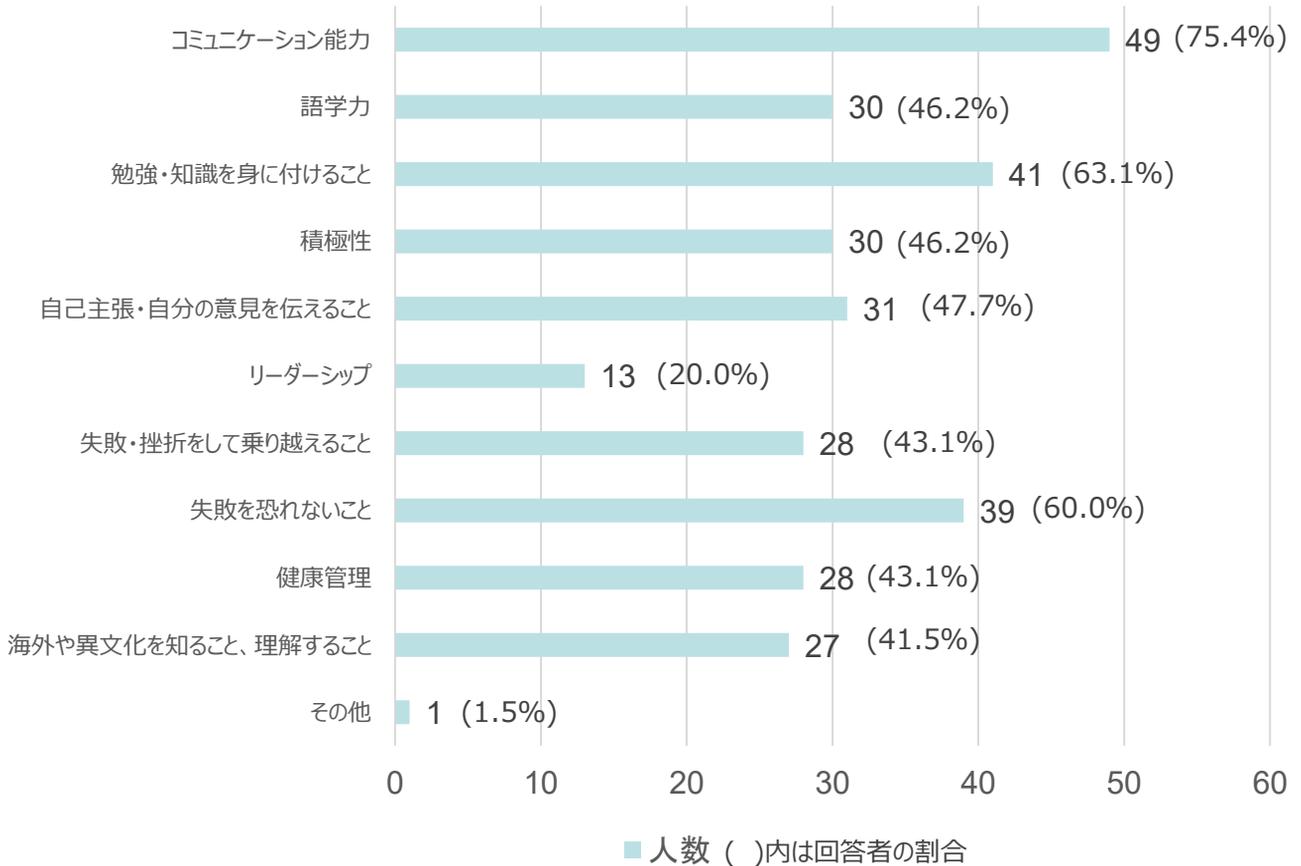
- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

5. 受講者アンケートの結果③



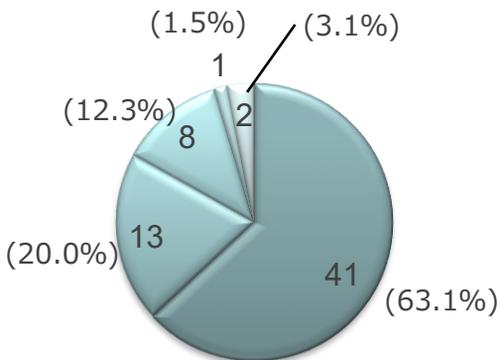
回答者 6年生：65名

Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答



Q6 スポーツは好きですか?

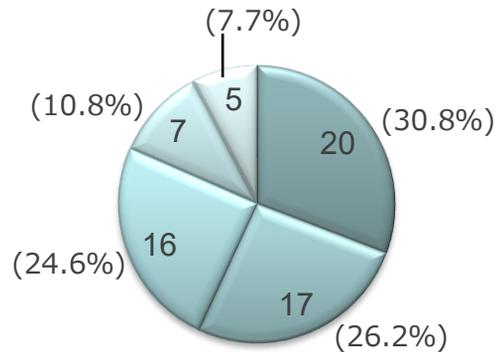
人数(割合)



- 好き
- どちらかという人喜欢
- どちらでもない
- どちらかという人喜欢
- 嫌い

Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?

人数(割合)



- 好き
- どちらかという人喜欢
- どちらでもない
- どちらかという人喜欢
- 嫌い



この事業は、日本財団・爪切り屋足楽の支援により実施しています。



LIFE IS A CHALLENGE!!

世界を舞台にチャレンジしよう!!



赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ